

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市大倉ふるさとセンター
2	指定管理者	特定非営利活動法人 グリーンライフ東北
3	指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》</p> <p>○古民家見学者 H28年度 16,281人 H29年度 12,687人 H30年度 11,543人（前年度比 91.0%）</p> <p>《事業》</p> <p>○指定管理事業35事業 延べ5,111人参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然を活用した野外活動体験及び研修に関すること ・生活文化及び伝統技術の体験及び展示に関すること ・センターPRのための交流イベント <p>○自主及び他施設との連携事業11事業 延べ702人参加</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p>・ 指定管理者に支払った費用 23,728千円 （23,728千円）</p> <p>・ その他市が負担した費用 1,441千円 （2,101千円）</p> <p>《収入》</p> <p>・ 使用料収入 396千円 （325千円）</p> <p>・ その他収入 203千円 （237千円）</p> <p style="text-align: right;">（ ）は前年度決算額</p>
6	利用者の声	<p>《アンケートの実施状況と結果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来館者アンケート（H30.4～H31.3に実施） 古民家見学や伝統行事体験が好評で、職員の対応についても評価が高い。 ・ 事業参加者アンケート（H30.4～H31.3に実施） 市政だよりによる広報が定着し、事業の企画内容について職員の対応も含め高い評価を得ている。

二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	設置目的を職員全員が理解し、それに基づいて適正に運営管理を行っている。	24/24
II 施設の運営管理体制	仕様書に定めたとおりに開館し、職員体制が事業計画書と一定期間相違したものの、施設の管理運営に必要な職員を配置している。指定管理料についても指定事業ごとの予算書を作成し、終了後は所管課に実施・収支報告書を提出し適正に執行している。個人情報・情報セキュリティ対策については日常のミーティング等で適正な管理について確認している。事故・災害時の対応については自然体験活動を目的とする事業が多いので、参加者への注意書きの配付や役割・連絡体制等を整備して対応している。	29/30
III 施設・設備の維持管理	職員が日常的に施設のメンテナンスを行っており、利用者が快適に利用できるように適切に管理されている。仙台市指定文化財である旧石垣家住宅（古民家）の燻蒸を仕様書のとおり行うなど、建物・設備等について適正に管理している。	24/24
IV サービスの質の向上	接客マナー・利用受付案内等については、職員全員が共通認識のもと、親しみやすく丁寧な対応を行っている。利用者への情報提供は市政だより・ホームページ・チラシ等での広報に努めている。苦情は少ないが、施設の掲示板において意見を募集するなどの対応をしている。	28/28
V 施設固有の基準	施設の貸出しと使用料徴収事務は適正に行われている。また、地域と連携し、地域資源を活用した事業を実施するとともに、ジュニアリーダー育成研修を行うなど、特色ある企画内容を展開している。	14/14

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人グリーンライフ東北）による自己評価》	
<p>平成30年度は、夏場の猛暑、降雨等の天候不順や大倉ダムの道路拡幅工事により前年度より来館者数が約1,000名の減少となった。</p> <p>指定事業については、暖冬による雪不足のため「親子で雪遊び」が中止になるなど天候不順の影響があったが、他の事業「酪農体験」、「カヌー体験」、「泥んこ遊び」などの人気のあるイベントは好評のうちに開催できた。仙台市指定有形文化財である古民家の見学者の方々からは、茅葺きの屋根や梁組、板戸に感心されたり、囲炉裏などに懐かしさや安らぎを感じたなどの感想をいただき、古民家で開催された「十五夜」、「七草」などの諸行事については季節の伝承文化の良さを認識できたと高い評価をいただいている。</p> <p>キャンプ場は、近年のブームにより利用件数、利用者数共に増加しており、県外からの利用者も増えて来ている。今後は利用者のニーズに応じた施設整備や、愛好者のすそ野を広げるために初心者向けの教室を開催するなど、色々なサービスを展開していきたい。</p> <p>広報については、ホームページの内容更新、広報誌、新聞などへの掲載はもとより、市民センター、コミュニティセンター等の公共施設へのチラシ等の配布を行っている。</p> <p>古民家レストラン「倉人」の運営は、地産地消を取り入れ、新鮮で旬の地元食材を使用したメニューの提供が利用者から喜ばれている。</p> <p>今後も地域とのコミュニケーションとセンタースタッフのチームワークを大切にして、大倉ふるさとセンターの運営をしていきたいと考えている。</p>	
《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>施設の運営について、協定書に基づき適正に執行している。</p> <p>平成30年度は、アクセス道路の工事等の影響により古民家の見学者が前年度に比べ減少しているが、新規事業を企画するなど指定事業に対して意欲的に取り組んでおり、自然体験事業の参加者は前年度に比べ11%増加している。</p> <p>事業の実施に当っては地域と連携しつつ地域資源を積極的に活用しており、酪農体験や田植え体験など親子で参加できる農業体験事業を開催するとともに、周辺の自然環境を生かしたカヌー体験や沢歩きなどの自然体験事業を実施している。また、古民家において伝承行事や伝統的生活体験事業を開催するとともに、倉人祭により地域の交流と賑わいを創出しており、大倉ふるさとセンターの設置目的に沿った事業運営を行っている。</p> <p>さらに、不登校児童支援事業やジュニアリーダーを対象とした育成研修を実施するなど、特色ある事業を展開している。</p> <p>施設・設備の維持管理について、古民家の燻蒸等を含め仕様書に基づき適正に実施している。</p> <p>職員の対応について利用者アンケートで「良かった」が約9割となるなど接客マナーの評価は高く、今後も丁寧な対応に努めるとともに、指定事業の企画内容の一層の充実と情報発信の拡充を図り、市民による施設の活用水準をさらに高めていくことが期待される。</p>	A

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局生涯学習部生涯学習課